

## 目標達成計画

作成日：平成 28年 6月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束のないケアの実施。やむを得ず家族様の同意の下、抑制を行っている利用者様がいる。	抑制を外す為の取り組みを介護計画に盛り込み、見直し、身体拘束をしないケアを目指す。	抑制帯を外すためにどのような取り組みをしているかを家族に説明すると共に、介護計画の見直しには家族の思いや意見も確認する。	3ヶ月
2	33	重度化や終末期における支援として、医療的な処置は困難である事を重要事項説明書に口頭で伝えている。	重要事項説明時に重度化終末期におけるホームの支援方針を重要事項説明書に記載する。また指針の内容を職員間で共有できるように努め、尊厳に十分配慮した介護を行えるようにする。	重要事項説明書を見直し、家族が理解しやすいように記載したうえで説明する。運営推進会議時や面会時に、ご家族からの意向も定期的に伺えるよう努める。	3ヶ月
3	45	入浴は週2日行っているが利用者様の移行や気分には反映していない。毎日利用できる事は利用者様に周知している。	入浴日以外にもその日の気分や体調に合わせて毎日利用できることを利用者様に周知する。	利用者様にわかりやすい方法で、いつでも入浴できることを説明する。浴室の前にその旨を貼りだす。	1ヶ月
4	26	介護プランの見直しを3か月ごとに行い、モニタリングは計画を見直す前に行っている	日々の変化や要望が計画に反映されるようにモニタリングを1か月ごとに行う。	ケアマネージャーより介護計画の見直しの予定を家族様に説明し、1か月ごとに直接連絡を取りモニタリングを行うようにする。	3ヶ月
5	40	毎日の献立が分かるような案内がない。	目立つところに記載する。	厨房専任の職員に目的を周知し、毎日記載するようにする。	1ヶ月